

普及活動情勢報告（令和8年1月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

大葉の「株枯れ」解決に向けて！ ～一斉現地巡回と原因究明の開始～



聞き取りに応じる生産者

12月下旬、大葉部会（南国、香北）は一斉巡回を開催し、JAと連携し生産者20名のほ場を巡回指導しました。

農業改良普及課は、夜間電照の球切れや生育異常、病害虫の発生について聞き取りを行い、対策を助言しました。

生産者からは、例年発生する「株枯れ症状」の解決を求める声が高く、特に香北地区では全6戸で発生が確認されました。これを受け、農業改良普及課は農業技術センターと連携し、原因特定に向けた現地調査を開始することとしました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、未解明の病害や生理障害の解決に取り組み、大葉の品質・収量の安定化に向けた支援を継続します。

食文化を伝承・活用しよう！ ～土佐の郷土料理伝承講座～



講師から鯛蒸しの作り方を教わっている様子

12月21日、農産物マーケティング戦略課が主催する「土佐の郷土料理伝承講座」が開催され県内の食育関係者など16名が参加しました。

本講座は、地域に根ざした食文化の継承を目的に毎年開催されており、今回は“土佐の料理伝承人”に選定されている香美地区農漁村女性グループ研究会が講師を務めました。農業改良普及課は、当日の円滑な運営を支援しました。

参加者からは、「学校でも講習してほしい」「お正月らしい郷土料理で、家でも作りたい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、郷土料理の体験を通じた食文化の継承を支援していきます。

産地ビジョンの実践に向けて！ ～長岡シシトウ部会～



産地ビジョンの内容を確認する部会員

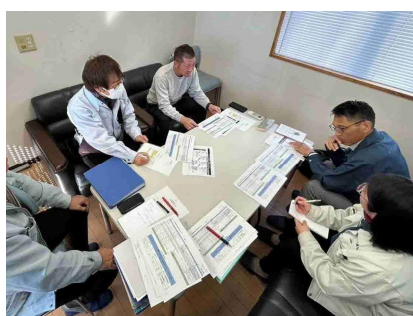
12月22日、JA高知県なんごく北支所で長岡シシトウ部会が開催され、生産者及びJA職員ら10名が参加しました。

会では、R6～7年度に作成した南国市シシトウ産地ビジョンを部会員に共有し、今後の取組内容を確認しました。農業改良普及課は、ビジョン作成にあたってデータ整理や課題、取組内容の取りまとめを行いました。

ビジョンでは、包装形態の変更を最優先課題としており、農家からは「包装形態の変更に向けた行動計画がありイメージしやすい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、部会や関係機関と連携し、産地ビジョンに掲げた産地課題の解決に取り組みます。

国営基盤整備を契機に、キャベツ生産拡大へ！ ～実施状況と設備課題の検討～



キャベツの生産拡大について
関係者で協議

1月9日、(株)南国スタイルと関係機関の6名で、前年度に作成したキャベツ生産計画の実施状況と、R8年度以降の取り組みについて協議しました。

農業改良普及課は、今年度導入した全自動は種機の作業効率や吸水性ポリマーに関する調査結果を報告しました。

(株)南国スタイルからは、計画通り作付できたことや、次年度は10haに拡大する意向があること、全自動は種機の導入効果を実感したといった意見が聞かれました。さらに、将来の生産拡大に向けて、育苗施設や予冷库の確保、機械整備、生産性の良い農地の確保等の課題が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、キャベツの生産拡大に向けた課題に取り組みます。

若手農家の学びと交流を後押し！ ～青年農業士中央東ブロック定例会～



対面とリモートの
ハイブリット形式で
定例会を開催

1月13日、当センターで青年農業士中央東ブロック協議会が定例会を開催し、青年農業士3名が参加しました。

3月に開催する総会・研修会の日程・内容及び次年度の活動計画を協議し、研修会は要望のあった「農作業事故のVR体験」に決定しました。農業改良普及課は、講師への依頼等開催に向けて支援していきます。

また次年度以降は、「補助事業を活用した高温対策資材・機器の導入ハウスを見学したい」「他県の青年農業士との交流の場を設けてはどうか」などの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も中央東ブロックの活動が青年農業士自身の経営発展につながるよう、視察先との調整等の支援をしていきます。

今作の着花状況は？ ～ハウスミカン現地研修会～



園地巡回の様子

1月16、20、23日、JA高知県香美地区果樹部温室みかん部会が現地研修会を開催し、生産者28名が参加しました。

昨年の秋季高温による着花不良が懸念されており、参加者の園地を巡回し着花状況や今後の栽培管理等について確認しました。農業改良普及課は、生理落果を抑制するための適正な温度管理や芽かき等の栽培管理の重要性について説明しました。

生産者からは「今年は奇形花が多い気がする」「昼温が上がり過ぎないように注意が必要」などの意見が出され、今後の管理で気をつけるポイントについて議論がされました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、安定した生産が継続できるように支援します。